

経営比較分析表（令和3年度決算）

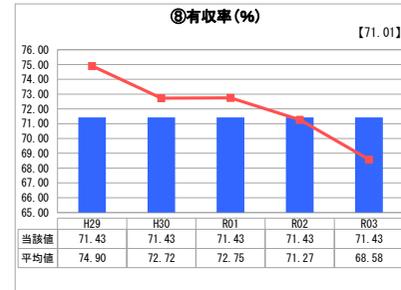
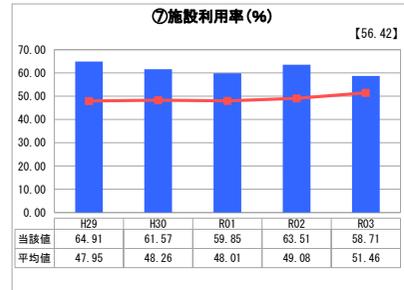
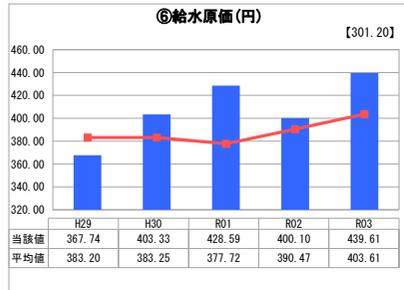
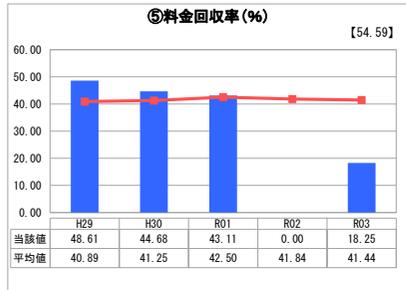
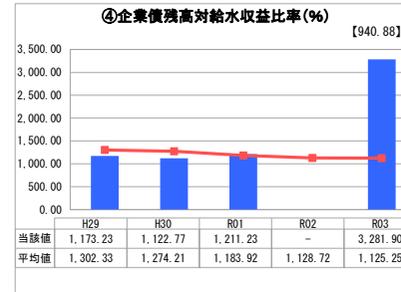
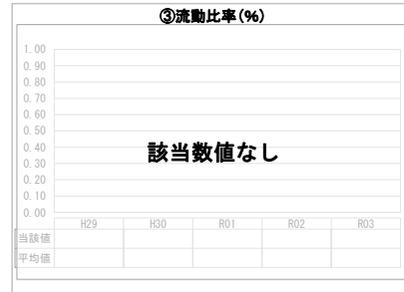
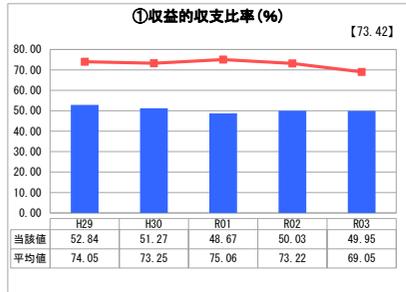
青森県 鳳間浦村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	該当数値なし	99.94	3,355	

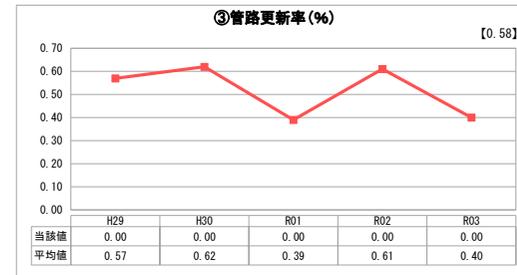
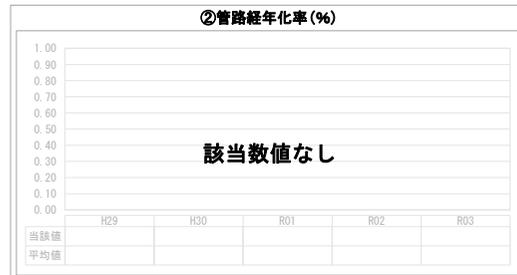
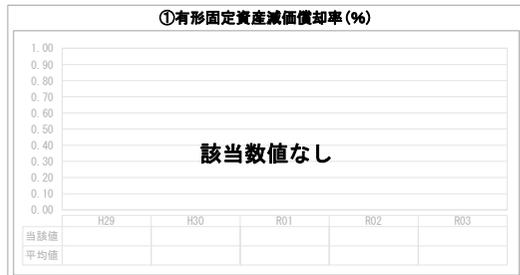
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
1,740	69.46	25.05
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
1,727	3.10	557.10

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
[]	令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

企業債残高対給水収益比率については、令和2年度から着手している浄水場改修事業の実施により、地方債償還が増加している。
 料金回収率については、令和3年8月の豪雨災害、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、水道料金の一部及び全額を免除していることから、令和3年度の料金調定額が減少したため、滞納繰越分を含めた料金回収率が低下している。
 給水原価は、浄水場改修事業費及び災害復旧事業費の増加により、前年度から増額となった。

2. 老朽化の状況について

管路更新については、耐用年数を超過しているものはない。しかし、老朽化と思われる漏水が多発していることから管路の点検診断を行い、老朽化対策を実施する必要がある。
 また、浄水処理施設においても老朽化が進んでおり、令和2年度から浄水場改修事業に着手している。

全体総括

給水人口の減少による給水収益の低下や施設の老朽化等による維持管理費の増加が課題となっている。施設や管路の更新に係る費用については、安定した水を供給するために避けられない部分があるため、値上げを前提とした料金改定、また効率的な維持管理及び設備投資のあり方について検討する必要がある。